

元高砂市議 緑の党グリーンズジャパン会員



兵庫県高砂市荒井町新浜 2-19-9

Tel 079-444-2343 Fax 444-2418

E-mail:iokuioku3@gmail.com

(HP 準備中)

ツイッター：@ioku3 Facebook・LINE: 井奥まさき

井奥まさきの市政ニュース

2013.9 (月刊+：9月号)

巻頭言

居眠り自治体 = 高砂市政を先進自治体へ変えたい

元高砂市議 井奥まさき

この両方とも高砂市に決定的に不足しています。特に市の動きが見えないのは市民参加にとって致命的な問題です。なのに、それを見直そうという気持ちが市長や「なんでも賛成」の主流派議員には欠けています。

11年間の市議としての経験、4年間の市民活動をもとに全国の先進自治体の知恵を提言し、高砂市政を先進自治体に変える活動を行っていきます。活動の一つとして、月刊ニュース発行を実施していきます。どうぞよろしく願いいたします。

たちの施策のように市民に説明してごまかす自治体=居眠り自治体=と、「1割以下」にあがき苦しみながら財源や政策を工夫する自治体=先進自治体=です。

高砂市は明らかに前者の「居眠り自治体」に入ります。

今後、全国的には人口は減少していきます。その中で「質を高める」工夫をしない「居眠り自治体」からは人はさらに逃げ出し、新しい人材も集まってくるません。先進自治体に共通するのは「市長・議員・職員のリーダーシップ」と「徹底した市民との対話」です。



議員の立場を離れ、市民の立場でマスコミ情報と広報が主な情報源になると、高砂市の動きがこんなに見えにくいものだったのかと感ずります。

以前にも書きましたが、高砂市の仕事の多くは国や県の政策が占めます。これに前例などを加えると、市長や市議会が新しく行う仕事は1割以下とも言えます。

全国の自治体を見てみると、大きく二つに分かれます。この「1割以下」に満足し、あたかも自分

治水計画 総額 278 億円の巨大治水計画

建設ありきでは？

高砂市は2032年度まで20年間で総額278億円の巨大治水計画を発表した。安全面にこそ税金は使われるべき…という大前提はあるにしても、巨大すぎ、かつ十分な効果が発揮できないのではないのでしょうか。平均で年10億円以上の投資を行う計画ですが、高砂市の年間の投資的経費は全体で10億程度、低い年で6億程度です。財政的に非現実的です。

行政や「なんでも賛成」議員は新しい建設事業は好きですが、かつの施策の見直しをしません。例えば、水害のおそれがないとして、ため池・河川の利活用などをしたケースの徹底見直し、田畑乱開発の抑制などの施策がまず最初に来るべきです。また、巨大な投資をしてさえも2011年の台風12号クラスには100%対応できないという現実もみるべきです。

一番大切な「命」を守る訓練や災害予測地域への対策が必要です。先進事例を紹介し、提案します。

○先進施策① 治水対策

- ・9月1日防災の日に全市的訓練
 - ・聞こえにくい防災無線だけでなく、防災ラジオ配布、HP公開の徹底
 - ・災害予測地域での乱開発防止（宅地業者への対策 雨水貯留施設、宅地のかさ上げなど）
 - ・堤防よりも河道の掘削など
 - ・森林などの保水機能への投資 など
- ▶「国土交通省 治水 見直し」で検索を

緑の党

混迷した政治に緑の党という新しい選択肢を

自民党が衆参両院で圧勝しました。しかし、民主党のぜい弱さで国政復帰を果たしたものの、世襲議員の多さ、建設業重視の政策など体質改善は中途半端で終わりました。4年前の政権交代選挙で批判された体質は変わってません。

民主党は2大政党の一角から滑り落ち、兵庫でも議席を失ったように凋落しています。今こそ、政治に新しい選択肢が必要です。

私は今回の参議院議員選挙では「緑の党」のメンバーとして活動しました。残念ながら議席は獲得

できませんでしたが、兵庫選挙区に候補者を出し、全国比例区でも三宅洋平さんなど魅力的な候補を出しました。9月末の総会をへてさらなる飛躍をめざす緑の党の活動を高砂でも開始していきます。

緑の党 <http://greens.gr.jp>

民主党政権下のダム見直し議論では治水対策の様々な提案が出ています。高砂市も参考にし、ソフト優先の有識者の意見を聞くべき

十月十日、私が現在の仕事にしている「自治体議員政策情報センター」の東京・国会議員会館でのイベント 子ども政策やネット選挙解禁について勉強会

■登市長は議会での追求もあつたのか二〇二二年度の資産公開で一転して一千万円の貯金。市長退職金があつたと予想されるがあまりに極端。市民審査が必要。

子育て日記 初めての習いごと通いが心配で…誘拐犯ではありません…



初めての習いごと通い

娘は8才、息子は6才になりました。これは娘が7才の時のエピソードです。自宅から徒歩15分程度の場所ですが、一人で習いごとに通うことになりました。「ちゃんと行けるかなあ」という親の心配をよそに娘は大喜び。「大人の階段を一步上がった」と言っています。

携帯電話を持たせて、送り出した後、すぐに後ろをつけていきました。娘は後ろを振り返りもせず一直線に走っています。

緑色のカバンもよく目立ち、少し離れていても大丈夫。時々車にぶつかりそうな勢いで走るのでハラハラする場面もありましたが、順調に教室の曲がり角へ。

迷った娘、その時私は…

安心して教室の前で最後の見送り…と思ったら、娘がいない！どうやら最後の最後で曲がり角を間違えたいらしい。あわてて、それらしき道を探すと…あ、いたいた。

うろろろとしている娘の姿が。自立のためには放置した方がいいのだろうけど、つい「おおい」と声かけ。振り返った娘のびっくりした顔。つい「バンビ」の父親鹿のシーンを思い出しました。

今度は息子か…誘拐犯ではないですよ。

今や娘は電車とバスで通う他の習いごとにも一人で通っています。次は息子の番でしょうか。怪しい大きな男が子どもの後をつけていても、二人の顔を良く見てくださいね(笑)よく「そっくり」と言われますから。

資産公開 建物・土地・株なし、貯金ゼロ…登市長本当ですか？

2011年度の資産公開の新聞記事を見てびっくりしました。登高砂市長の資産が「建物・土地・株・貯金ゼロ」とあったからです。公務員で退職まで過ごし、副市長、市長という人生を歩んできた方には余りに貧乏ではないでしょうか。詳しく調べると、高砂市の資産公開条例が①本人以外は対象にしない②普通預金は対象外ということですので、建物が妻や子

ども名義であったり、普通預金ばかりで株にもいっさい関わらなければゼロも理論的にはありうる話です。しかし、もしそうであれば、「資産の有利な運用」すらしな社会性のない人物に市政を任せていいのでしょうか。

また、妻や子ども名義であれば公開しないという現在の条項を活用して抜け道を作っているのであれば、資産公開の意味がありません。

ん。実は高砂市の条例は国のザル法にもとづくもの。居眠り自治体の典型です。先進施策を紹介します。予算もいらない改善策をぜひ実施してほしいものです。

○先進施策② 資産公開条例

- ・常設の市民審査機関を設置し、審査
- ・市民が疑問がある場合の審査請求
- ・対象を同居の親族などにも拡大
- ・貯金は一定額以上の普通預金も対象とする
- ・副市長や教育長、議員も対象とする

▶「堺市 政治倫理条例」で検索を

多事総論 公務員は数も給与も減らすべき？

高砂市の重要な争点についての議論をまとめました

□賛成 人件費を減らす努力は当たり前
公務員は税金を使う立場をもっと自覚すべき。人件費を減らせば、その分福祉や教育、そして建設業などの地域の経済活性化に回すことができます。高砂市の民間給与に合わせれば給与はもっと削減できます。人数も今の仕事ぶりならもっと少なくてもいい。

VS

□反対 減らされ過ぎて活力なくす状況
国の抑制策、市の行政改革により職員数は減る一方で給与も減っています。特に若い職員が苦しい。教育・福祉を典型に個人情報や仕事の性質上、公務員でなければならぬ仕事は多い。公務員の給与が減らされると地域経済も疲弊します。

みんなの声を
集めました。

□井奥の一言 公務員問題は議論の土台となる資料があまりに不透明なのが問題だと思います。ヤミ手当など新事実が明らかになるたびに市民に不信が募ります。「無条件擁護」と「気分」による「バッシング」の間を埋める冷静な議論が必要です。公開されるようになった情報は「高砂市給与・定員管理等の公開」で検索すれば毎年のデータが出てきます。まだ不十分ですが。ちなみに平成23年度で年収平均632万円(普通会計)です。

■公務員だけを定年後も雇用する「再任用制度」導入は慎重にすべき。行政改革や定数などを完全にやりなおさなければいけない。年金の隙間問題をごまかしてはいけない。